

令和7年度 清須市立西枇杷島中学校  
学校評価報告書

(令和8年2月)

<総合評価>  
生徒・保護者・教職員、それぞれの「そう思う」「だいたいそう思う」を  
たした割合が すべて 80% 以上 → ◎  
1つでも 60% 未満がある → ⊕  
それ以外 → ○

設問	項目	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	総合評価
1	教育目標 ・教育方針に沿って熱心に教育活動を行っている。 ・学校教育目標や経営方針を理解し、実現に向けた教育活動を行っている。	生徒 3%	保護者 27%	教職員 4%	69%	4%							◎
2	家庭との連携 ・子どものことについて連絡・相談しやすい。 ・家庭や地域の声をしっかり受けとめた上で教育活動を進めている。	生徒 5%	保護者 23%	教職員 4%	53%	17%							○
3	3 ・学校や生徒に関する情報をさまざまな機会を通して家庭に発信している。 ・学校や生徒に関するさまざまな情報を家庭や地域に伝えている。	生徒 5%	保護者 18%	教職員 2%	61%	14%							○
4	安全管理 ・健康や安全に気をつけて行動している。 ・防災教育を中心とした安全教育の推進を図り、生徒の安全意識の向上を図る取組を行っている。	生徒 2%	保護者 23%	教職員 1%	65%	8%	2%						◎
5	安全指導 ・安心・安全な教育環境が整備されている。 ・生徒が安心・安全な生活ができるよう、教育環境の整備を意識した行動をとっている。	生徒 1%	保護者 21%	教職員 1%	67%	11%	1%						◎
6	感染症対策 ・学校生活の過ごし方や学校行事の実施方法において、感染症対策を講じて適切に教育活動に取り組んでいる。 ・手洗いや咳エチケット、換気等、感染症対策を意識して、日々行動している。	生徒 2%	保護者 23%	教職員 0%	45%	69%	8%	0%					◎
7	学校楽しさ ・楽しく学校生活を過ごしている。 ・楽しく過ごせるよう工夫した取組や適切な支援を行っている。	生徒 3%	保護者 4%	教職員 1%	47%	44%	5%	3%					◎
8	行事等 ・学校行事や生徒会活動が充実している。 ・充実した学校行事や生徒会活動となるよう、工夫した取組や適切な支援を行っている。	生徒 2%	保護者 25%	教職員 1%	65%	9%	1%						◎
9	部活動 ・生徒は部活動に意欲的に参加している。 ・意欲的で充実した活動になるよう、工夫した取組や適切な支援を行っている。	生徒 4%	保護者 58%	教職員 4%	66%	6%	4%						◎
10	10 ・授業は分かりやすい。 ・「分かる授業」を追求し、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。	生徒 1%	保護者 14%	教職員 0%	74%	11%	1%						◎
11	11 ・学習習慣や授業中の学習のまきりが身に付いている。 ・授業において、学習習慣・学習規律の定着が図られている。	生徒 4%	保護者 19%	教職員 2%	56%	22%	1%						○
12	12 ・子どもは、自ら学ぼうと努力している。 ・「教える場」から「学ぶ場」への転換を意識し、生徒の学習意欲を高めるよう、工夫した取組や適切な支援を行っている。	生徒 7%	保護者 24%	教職員 1%	43%	23%	7%						○
13	13 ・家庭学習に進んで取り組んでいる。	生徒 1%	保護者 4%	教職員 0%	43%	33%	1%						△
14	14 ・複数の先生で行う授業（英語や数学・保健体育など）は効果的である。	生徒 3%	保護者 40%	教職員 0%	45%	12%	3%						◎
15	15 ・タブレット端末を効果的に活用して学習に取り組んでいる。	生徒 1%	保護者 19%	教職員 0%	74%	7%	1%						◎
16	キャリア教育 ・将来の進路や生き方を考える機会が充実している。 ・「生き方指導」としてのキャリア教育を意図的・計画的に推進している。	生徒 2%	保護者 32%	教職員 4%	50%	16%	2%						○
17	教員研修 ・現職教育のテーマに沿い、学習指導要領改訂に向け、授業改善に取り組んでいる。	生徒 0%	保護者 4%	教職員 0%	81%	15%	0%						◎
18	18 ・時と場に応じた言葉遣いができる。 ・挨拶など基本的な生活習慣の確立に努めている。 ・自分は、「挨拶」「言葉遣い」「清掃」等、当たり前のことを当たり前に行うことができるよう工夫した取組や適切な支援を行っている。	生徒 1%	保護者 36%	教職員 2%	51%	11%	1%						◎
18	18 ・自分はあいさつがきちんとできる。	生徒 2%	保護者 29%	教職員 0%	57%	12%	2%						◎
18	18 ・自分は毎日清掃にしっかり取り組んでいる。	生徒 2%	保護者 36%	教職員 0%	51%	11%	2%						◎
19	19 ・他人を思いやる心や礼儀正しい態度、正しい判断力、情報モラルが身に付いている。 ・心の教育を推進し、「思いやり」「礼儀」「判断力」「情報モラル」の育成に努めている。	生徒 1%	保護者 30%	教職員 0%	59%	11%	1%						◎
20	20 ・合い言葉「『幸動』～自分のために、人のために～」を意識して行動することができる。 ・合い言葉「『幸動』～自分のために、人のために～」を踏まえて、子どもたちの自律の心、思いやりの心の育成に努めている。 ・自分は、合い言葉「『幸動』～自分のために、人のために～」を踏まえて、生徒に対して意識して声かけや指導をしている。	生徒 2%	保護者 25%	教職員 0%	56%	16%	2%						◎
21	21 ・自分は、合い言葉「『幸動』～自分のために、人のために」を踏まえて、生徒が主役になり、自分たちの力で学校のさまざまな活動をつくることができるよう、意識して生活している。 ・自分は、生徒が主役になり、自分の力で学校のさまざまな活動をつくることができるよう、意識して声かけや指導をしている。	生徒 4%	保護者 16%	教職員 0%	52%	28%	4%						○
22	22 ・先生は、生徒を理解し、信頼関係づくりに努めていると思う。 ・生徒を理解し、信頼関係づくりに努めている。 ・毅然とした姿勢とともに、「生徒の心に寄り添う」生徒指導に努めている。	生徒 3%	保護者 35%	教職員 0%	54%	9%	3%						◎
23	23 ・自分は善悪の判断を正しく行い、社会や学校のルールを守って生活している。 ・善悪の判断を正しく行い、社会や学校のルールを守って生活している。 ・いじめ、問題行動等に対処し、未然防止に努めている。	生徒 1%	保護者 39%	教職員 0%	56%	4%	1%						◎
24	24 ・言語環境を大切にし、子どもに良質な言語感覚を育もうと努めている。	生徒 2%	保護者 19%	教職員 0%	63%	14%	4%						◎
25	特別支援教育 ・特別支援教育の理解し、個々の教育的ニーズを把握して、適切な指導・支援を行っている。	生徒 0%	保護者 30%	教職員 0%	63%	7%	0%						◎
26	働き方 ・働き方改革が少しずつ進められ、昨年度と比べ業務の負担が減ってきている。	生徒 0%	保護者 22%	教職員 0%	41%	30%	7%						○